

## 出崎地区のケーソンが豪快に進水

沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター

平成 22 年 12 月 21 日、県が宮古市で整備を進めている宮古港出崎地区護岸（防波）工事のケーソン進水式を現地で行いました。

宮古港のケーソン進水は、昭和初期から活躍している木製斜路の上をそりが滑る方式で、全国でも宮古港と小樽港のみで実施している非常に珍しいものです。現地で行われた進水式では、地元小学校の児童によるロープカットが行われ、長さ 10m、幅 12.9m、高さ 9m で約 720t ものケーソンが勢いよく木製斜路を滑り、波しぶきを上げて豪快に進水しました。今回進水したケーソンは、興味を持った地元小学生から研究発表の題材にしたいとの申出があったことから、製作段階から触ってみたり、上ってみたりと触れ合ったケーソンだけあって、参加した小学生は、自らロープカットという大役を果たして無事に進水したことをとても喜んでいました。

また、12月26日には、今年度2回目の進水を行い、平成13年度に製作をはじめたケーソンは全部で13函が進水しました。来年度以降、残る5函を製作、進水する予定であり、進水の際にはホームページなどでお知らせしますので、迫力ある現場を是非、間近でご覧ください。

ケーソンを木製斜路の上に載せます！



地元小学生が金色の斧でテープカット！



波しぶきを上げてケーソンが進水！

